

農委だより

第43号
平成29年1月

発行：大潟村農業委員会 秋田県大潟村中央1-1 TEL 0185-45-3654 FAX 0185-45-2162

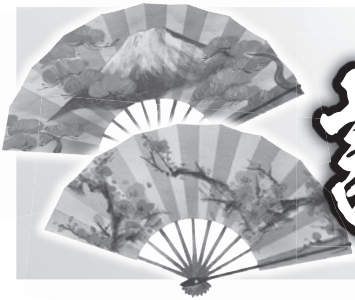


写真提供：船越 薫氏（西2-2）

おもな内容



- ・年頭のあいさつ…………… P 2
- ・秋田県農業委員大会報告…………… P 3
- ・農業委員研修…………… P 4
- ・ドキワクアドバイザー 異業種交流会…………… P 5
- ・「農地等の利用の最適化の推進」に関する要請… P 6
- ・農地中間管理事業…………… P 7
- ・農業委員会1年間の活動等…………… P 8



謹賀新年



年頭のあいさつ

会長 大島 和夫

新年あけましておめでとうございませう。皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのことと思ひます。また、平素より村農業委員会に對しましてご理解とご支援をいただきまして厚くお礼申し上げます。昨年は4月に改正農業委員会法が施行となり、県内では、にかほ市、井川町が新法により新たな委員の選出となりました。本村では8月に公募を行い9月議会で承認をいただき、村長の任命を受けました。10月18日の任期満了に伴い翌19日より13名の新委員が就任いたしました。定数も条例改正により15名から13名に削減となりました。委員一同皆様のご期待に沿えるよう精進してまいります。村内の稲作の作況は農協発表によりますと108の豊作でした。米価もわずかながら回復しました。資材等のコストは下がり農家経済の厳しさは変わりませぬ。

環太平洋連携協定(TPP)はアメリカの次期大統領がトランプ氏となり、就任し次第TPP離脱を表明してあります。(12月現在)今後の行方として日本政府の対応に注目が集まっています。昨年12月に東京浜松町にあるメルパルクホールで開催された全国農業委員会会長代表者集会でも断固反対の声が大多数でした。そして「第一号議案 農地利用の最適化の推進」、「二号議案 情報提供活動の一層の強化」が満場の拍手で決議され、あわせて国に「農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請」も決議されました。砂防会館で行われた農業者年金加入推進セミナーでは平成14年に賦課方式から積立方式に変わり一時期に減った加入者も回復し始め13万人加入に向けて推進することが確認されました。本村は経営移譲に伴い順調に加入していただき、全国でも常に上位の加入伸び率を達成しており幾度も表彰を受けております。大潟村農協をはじめ関係各位にお礼申し上げます。農業者年金

は掛け金に国の支援を受けられるとて有利な年金です。未加入の方は是非、農業委員会事務局にご相談ください。農業委員会では大潟土地改良区、大潟村農協の御協力のもと毎年、7月と11月に管内の農地パトロールを行っております。おかげさまで遊休農地とみられる農地は他市町村に比べはるかに少ない状況となっております。その大半が周辺増反地の10アール区画の圃場です。解消に向けての方策として畦畔を撤去してより大きな圃場とすることで流動化を推進できるのではないかと考えられます。しかし、地権者の理解と調整が最大の課題です。周辺農業委員会と協力しながら問題解決に向けて取り組んでまいります。ドキワクアドバイザー、村内青年団体が構成される異業種交流会の方々の婚活イベントの活動もとても活発です。成果も現れており心からお礼申し上げます。結びに農業情勢がますます厳しくなっていく中、農家の皆さんにより的確な情報提供の窓口として委員、事務局共々務めてまいります。皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

事務局長	北嶋 武田 聖子	今野 茂樹	藤原 光昭	山本 宏	宮川 清子	深井 源八郎	渡邊 琢磨	高橋 忠良	小林 信之	北條 友紀	委員	土井 博文	農政部長	村上 孝憲	農地部長	植生 望	会長職務代理	大島 和夫	会長	大島 和夫
------	----------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	----	-------	------	-------	------	------	--------	-------	----	-------



「第60回秋田県農業委員大会」に参加して

委員 深井 源八郎



「政府にも申したい事は多々あるが、新しい組織の中で秋田の『美田』を守る

ために一緒に頑張っていこう」

秋田県農業会議二田孝治会長のあいさつで大会は幕を開けた。

平成28年11月1日、県種苗交換会が開催中の湯沢市文化会館において、総勢600名の県内農業委員が出席して、第60回農業委員大会が開催されました。



私自身もこの10月に新人農業委員として任命され、初仕事がこの大会への参加となりました。農業委員会組織の改革である「改正農業委員会法」が本年4月に施行され、新制度の中で行われた最初の大会でもありました。

県内ではすでに大潟村を入れた3市町村で新制度下における農業委員の改選・任命がされており、29年には県内18市町村で改選が行われる予定となっています。大会は県農業会議会長表彰（昨年は村農業委員2名が表彰）のあとに、議事へと移りました。本大会では、TPPやコメの生産調整（減反）見直しにより、農業情勢が大きく変化する中、TPP合意内容に関する情報開示や、農家への所得対策を徹底するよう政府に求める決議文を採択しました。

また、大会の最後には「地方の声を届け、地域農業の維持発展に向けて総力を結集する」との大会宣言を採択して、参加者全員で「がんばろう」三唱で大会は幕を閉じました。現在、農業委員会、JA共に農政改革の中でアゲンストな立場、状況におかれています。大胆な改革には、何らかの代償がつくものです。組織を維持発展させることと新しい風を吹き込むこと、2つのバランスをうまく保ちながら組織を運営していくことは、なかなか難しいことだと感じたところです。最後に、委員となつて日



も浅いですが、大潟村農業委員会は大島会長を中心として、個性的な先輩委員も多く、多士多才なメンバーが集まっています。私自身も「農地の番人」としての職責を果たしていきたいと思えます。

◎農地の賃貸料情報

平成28年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃貸料水準（10a当り）は、以下のとおりとなっております。

農地法の改正に伴い、これまでの標準小作料制度が廃止されたことから、これに代わるものとして、農地（周辺増反地は除く）の賃貸借の実勢価格を毎年提供するものです。

周辺増反地については、農業委員会事務局にお問い合わせください。

（単位：円/10a）

賃貸料	平均額	最高額	最低額
	30,700	36,000	28,000

※データは平成28年1月～12月集計数値
※データ数92件の単純平均値



「農業委員研修」受講生

委員 宮川 清子



6月 23・24日、一泊二日
 (この方は奥州市の農業委員でもあった) 米粉麵の製造については、全くの委託で原料供給と販売を主に行っているそうだが、商品をバリエーションを持たせるために、古代米を栽培しており、その努力が感じられた。販売については、事業が小規模である、また製造してくれないというところで、商品単価が高く、ご自身が目指すところのふだん使いの食品に向かず、その点ご苦労されているようであった。

の日程で大潟村農業委員会委員の3年に一度の研修に参加した。今回は岩手県奥州市と宮城県亶理町が研修先となった。
 初日、6次産業化の観点から、奥州市で古代米を使用した米粉麵を商品化している千葉政三さん

現在「ちよつと高級」な商品というところに着目し、冠婚葬祭のお返し品として売り込もうとするなど、様々なアイデアを發揮している。



売り方販路を広げていかないことには、加工したことで生産物の付加価値を高くしたように思えるという本来の目的は叶わないということを改めて考えさせられた。

翌日は亶理町農業委員会に應對していただいた。目的は町を挙げてイチゴの通年栽培に取り組みようとする団地について研修するものであった。
 亶理町農業委員会会長からも出席いただき、事業内容を伺った。亶理町

も東日本大震災で被災した町であり、震災後1ha圃場へと区画整理が進み、1経営体の栽培面積は大きく変わった一方で、経営をあきらめた農家も多いとの説明を受けた。農地の流動率は3割とのことであった。

その後、イチゴの大型施設の見学となった。震災後に建設された、町内に三カ所あるイチゴ団地の中で、最も大きい内吉田地区の団地で常磐自動車道のすぐ脇に位置している。施設は、高設ベンチにヤシ殻を入れたプランターを並べ養液で栽培、施肥や温度管理は自動というものが、それまでの土耕からの栽培方法の違いに苦労もあったようだが、今では経営も安定しているようである。目標は町内三カ所、約23ha全体で28億円の売り上げだそ

うだ。イチゴの作業は多忙を極めるが、収益率はコメより高く、田んぼを貸してイチゴ専業となる農家もいるという。何より、後継者に苦労しないというのはすばらしいことだと思ふ。
 様々な心情もあると思うが、今回お会いした方々には復興事業を契機にステップアップしようとする気概が感じられ、心強く思った。

異業種交流会構成団体

団体名	会長又は代表者名	住所	連絡先
大潟村青年会	仲村 耕太 池田 龍成	西3-2 北1-2	☎45-2185 ☎45-2537
大潟村若妻会	竹本かおり 川原真理子	東2-4 西3-1	☎45-2358 ☎45-2392
農業近代化 ゼミナール	渡辺 悠太 谷 真誠	東3-1 東3-1	☎45-2256 ☎45-2316
農協青年部	大沼 猛 太田 翔	西2-3 西1-2	☎45-2537 ☎45-2047
CE青年 農業者クラブ	佐藤 慎太郎 後藤 秀樹	東2-3 西3-2	☎45-2638 ☎45-2192

○異業種交流会の集い 期日：2月4日(土)午後6時から 場所：サンルーラル大潟
 開催！ 問い合わせは農業委員会 ☎ 45-3654

参加者募集



ドキワクアドバイザー

丹野 文子

全国結婚支援セミナーにいしかわに参加して

10月16日 日川

日石川

金沢市にて「第6回 全国結婚支援セミナーinいしかわ」が開催され参加して参りました。2日間に渡るセミナーにおいて初日は記念講演とパネルディスカッション、2日目は新たな視点で取り組む各地の婚活事業の紹介でありました。どのプログラムも個性ある取り組みがなされていると感じ、とても良い刺激になりました。中でも私が一番印象深かったものが記念講演でありました。少子化ジャーナリストであり相模女子大学客員教授、白河桃子氏による記念講演でタイトルは「女性の働き方革命と活躍への応援が結婚支援につながる」でしたので、その事についてご紹介させていた

だきます。

現在日本では一般的な家庭において男性の平均年収が300万円。その場合家計を助けるため女性も働きに出る必要があり、その年収が平均200万円。共働きでないとなつていけない時代の到来です。日本経済発展のために必要な女性の社会進出と、少子化問題改善に必要な結婚・出産率の増加を同時に促すためには地域や行政に加え、企業も含めた社会全体で取り組む必要があるそうです。

女性が就業する際に2つの壁があるそうで、1つ目は性別役割分担の意識について。女性が子育てや介護をするというような意識がまだ大多数の人たちの中にあると同時に、男性の家事や育児への協力時間が十分ではないことなどが挙げら

れます。まだまだ男性の家庭における参画が進んでいない状況だそうです。現在男性の育児休暇率は日本において平均2・3%だそうです、その低さに驚きました。夫が週6時間以上子育てに協力すると第二子出産を希望する家庭が7割以上なのだそうです。

2つ目は労働時間について。多くの場合、長時間労働する人がえらいという意識を持たれるようです。そうなるとう能力のある女性でも評価の対象から外れると



いうことが起こるそうです、それではいけないと、最近になり企業では評価方法に時間に対するものから内容へと変えているところも増えてきたそうです。就労時間や評価方法に関しては男女関係なく、その人その人に合った環境をより多く提供していくべきとのことでした。これらの問題点を企業が改善できると、出産・子育てへの希望が持て、結婚への積極性が増すはずというのが白河氏の考えでした。

講演の内容について、農業者が多数の大潟村とは違つた、都市部の生活形態の中から生まれたテーマのお話でしたので、たくさんのお話を学びました。2日間のプログラムを通して、婚活という1つの議題でしたが、地域によって活動内容に温度差があるなど感じるのと同時に、今後は相談員のネットワークを密にした積極的な活動ができればと思います。

♥ドキワクアドバイザーに気軽にご相談を!♥

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 大島 和夫 [東3-2・☎45-2490] | 高木 茂夫 [東2-4・☎45-2423] |
| 石原 敏子 [東3-3・☎45-2486] | 浮田 順子 [東3-1・☎45-2237] |
| 佐野麻寿美 [東3-3・☎45-2352] | 丹野 文子 [東2-3・☎45-2619] |
| 川崎 幸江 [西3-4・☎45-2916] | 進藤 栄一 [西1-1・☎45-2220] |
| 埴生 望 [東3-1・☎45-2829] | 小林 信之 [東3-3・☎45-2144] |

「農地等の利用の最適化の推進」に関する要請

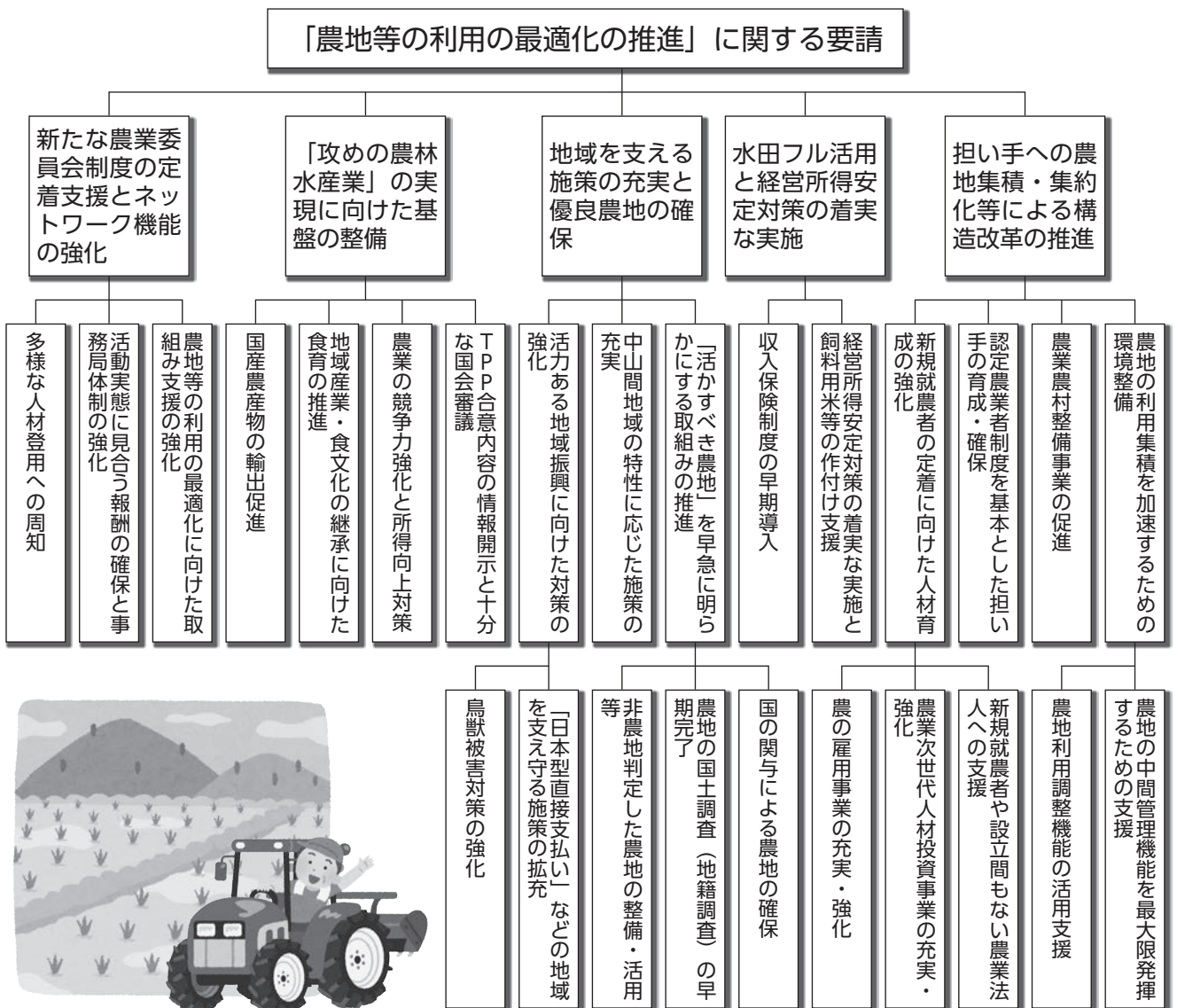
政府の「経済財政運営と改革の基本方針2016」を踏まえ、農林水産省は、農林水産業の成長産業化と美しく活力ある農山漁村を実現するための政策の具体化と「総合的なTPP関連政策大綱」に掲げる検討を柱に平成29年度予算の概算要求を編成し、「農政新時代を拓く」としたところである。

こうした「攻めの農林水産業」に軸足をおいた政策の推進により、力強い農業を志す多様な担い手の育成・確保が進んでいるものの、水稻経営が主体である本県の農業者の多くは、コスト削減の努力にもかかわらず、農業所得の低迷が続いており、安定的・継続的な経営展望を見出せず、担い手の営農意欲の減退、離農者の急増、遊休農地の増加などに加え、農村機能の維持までもが危惧されている。

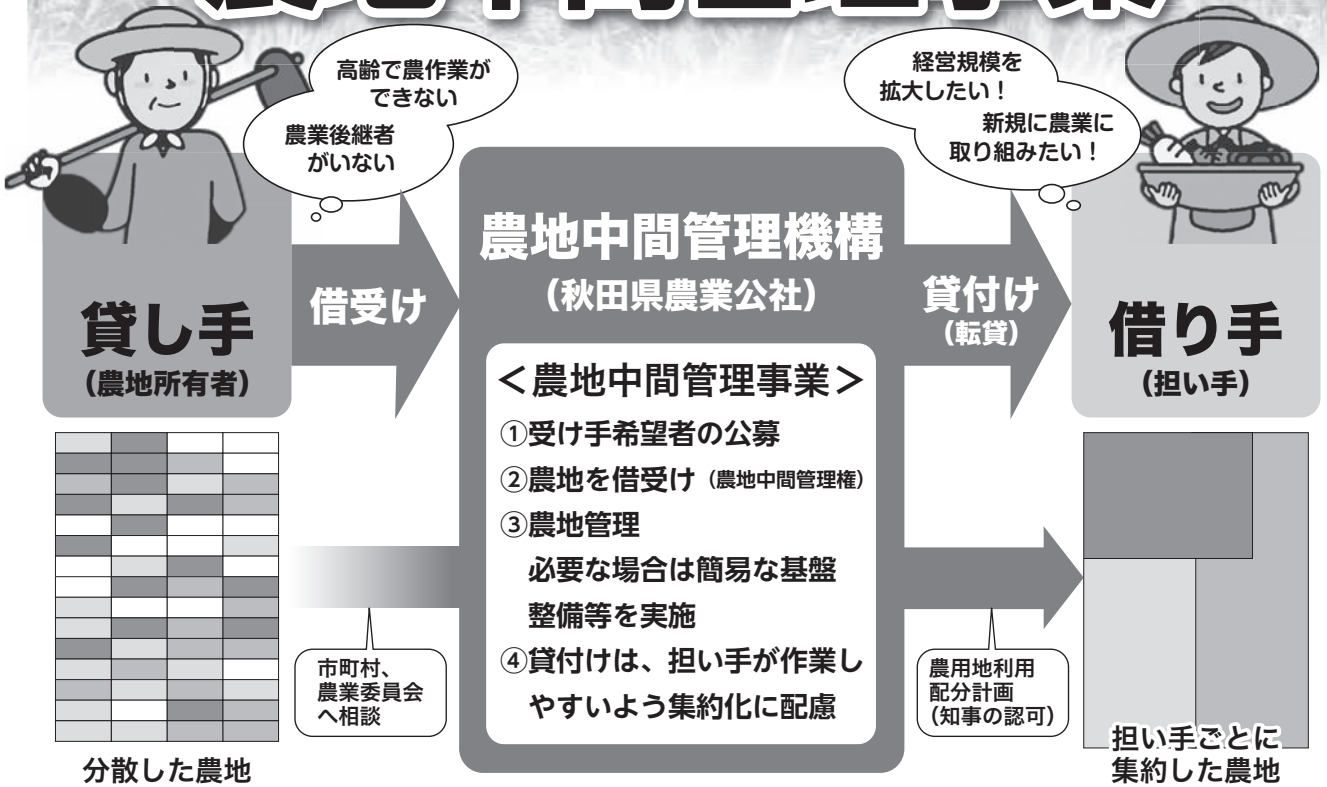
本年4月、「農業委員会等に関する法律」の改正法が施行され、農業委員会組織は、農地等の利用の最適化の推進をはじめ、農地情報の収集・提供、担い手の育成・確保に取り組むこととなったが、こうした取組みにあたり、農業委員等の日常の活動で得られた課題・意見が、農地等の施策の推進において考慮されるよう、農地等利用最適化推進施策の改善に向けた意見を取りまとめたものである。

については、多くの農業者が生産意欲を持ち、安心して将来展望を描ける政策が実現されるよう、政府・国会に対して強く要請する。

第60回秋田県農業委員大会の要請事項 (構成)



農地中間管理事業



農用地等について
公社が借受ける

- 機構が借受ける農用地等は、農業振興地域内に限ります。
- 借受期間は、原則10年以上とします。
- 機構は、簡易な基盤整備事業を支援します。
機構へ10年以上の期間で貸付けのあった農地については、借り手の希望により、畦畔除去や暗渠排水といった簡易な基盤整備事業を実施できます。
- 再生が著しく困難な遊休農地や、借り手がなかなか見つからない又は所有権以外の権利が設定されている農地は借入れできない場合があります。

貸付先決定ルールについて

- 借受希望者の規模拡大や分散錯圃の解消に資すること
- すでに効率的かつ安定的な農業経営を行っている農業者の経営を妨げないこと
- 新規参入者が効率的かつ安定的な農業経営を目指していけるよう配慮すること
- 地域農業の健全な発展を旨とし、借受希望者のニーズをふまえて公平・適正に調整すること
- 借入地の交換、隣接地、集落営農組織が法人化して利用する場合などを優先
- 借受け希望の条件や、「人・農地プラン」の内容などを総合的に勘案

平成28年度事業 大潟村の状況 (平成28年12月26日現在)	借受希望者	地域	経営体	貸付希望者	地域	経営体
		大潟村内	38件		大潟村内	0件
		大潟村外	45件		大潟村外	7件

町村名	配分当初積面	現有面積	前年面積	増減(通算)	
				増	減
大潟村	8,975	9,259	9,226	284	33
男鹿市	675	555	572	△120	△17
旧山本町	12	13	13	1	0
旧琴丘町	328	320	322	△8	△2
旧八竜町	541	446	455	△95	△9
八郎潟町	446	370	375	△76	△5
その他	0	14	14	14	0
計	10,977	10,977	10,977	-	-

単位: ha

— 農業・農政の情報紙 —
全国農業新聞を購読しましょう!!

全国農業新聞は
農業者の利益代表機関である
農業委員会系統組織の機関紙です。
農業者の立場に立つて編集・発行している
農家のための情報誌です。

購読料 1か月/700円
毎週金曜日発行
申し込みは大潟村農業委員会
事務局 ☎45-36354まで。

農地情報をインターネットで公開しています。

農地法の改正により、農業委員会の農地台帳が法定化されたことに伴い、平成27年4月1日から農地の情報が閲覧できるようになりました。閲覧はインターネットで全国農業会議所が提供する「全国農地ナビ」にて閲覧できます（インターネットによる閲覧は項目に制限があります）新しく農業を始める方や農業の規模拡大を希望する方は「全国農地ナビ」をご活用ください。

全国農地ナビ→ <https://www.alis-ac.jp/>



農業委員会の活動のあらまし（平成28年1月～平成28年12月）

◎定例総会・全員協議会

- 1月 7日 第1回農業委員会定例総会・全員協議会
- 2月 2日 第2回農業委員会定例総会・全員協議会
- 2月 16日 第3回農業委員会臨時総会
- 3月 2日 第4回農業委員会定例総会・全員協議会
- 4月 5日 第5回農業委員会定例総会・全員協議会
- 5月 6日 第6回農業委員会定例総会・全員協議会
- 6月 2日 第7回農業委員会定例総会・全員協議会
- 7月 5日 第8回農業委員会定例総会・全員協議会
- 8月 2日 第9回農業委員会定例総会・全員協議会
- 9月 2日 第10回農業委員会定例総会・全員協議会
- 10月 4日 第11回農業委員会定例総会・全員協議会
- 10月 19日 第12回農業委員会臨時総会・全員協議会
- 11月 4日 第13回農業委員会定例総会・全員協議会
- 12月 5日 第14回農業委員会定例総会・全員協議会

◎農地パトロール

- 7月 5日 農地パトロール（農業委員・土地改良区・農協）
- 11月 4日 農地パトロール（農業委員・土地改良区・農協）

◎部会の開催

- 1月 7日 農政部会（平成28年農業委員日より発行等）
- 1月 15日 平成28年農業委員日より発行
- 2月 2日 農地部会（遊休・耕作放棄地等への対応）
- 11月 22日 農地部会（遊休・耕作放棄地等への対応）
- 11月 22日 農政部会（平成29年農業委員日より発行等）
- 12月 16日 農政部会（平成29年農業委員日より発行等）

◎ドキワク・異業種交流会

- 1月 25日 異業種交流会会議
- 2月 6日 異業種交流会の集い
（交流パーティー：ホテルサンルーラル）
- 2月 25日 ドキワクアドバイザー・異業種交流会との合同会議
- 3月 5日 ドキワクの集い（交流パーティー：ホテルサンルーラル）
- 6月 20日 ドキワクアドバイザー・異業種交流会との合同会議
- 7月 5日 異業種交流会会議
- 8月 4日 異業種交流会会議
- 8月 20日 異業種交流会の集い
（恋のBBQパーティー：南の池公園キャンプ場）

9月 13日 異業種交流会会議

- 10月 16日 全国結婚支援セミナーinいしかわ（参加2名）
- 10月 24日 異業種交流会会議
- 11月 7日 男子力アップセミナー：ホテルサンルーラル
- 11月 8日 ドキワクアドバイザー会議
- 11月 8日 異業種交流会会議
- 11月 21日 異業種交流会の集い
（恋のボジョレーパーティー：ホテルサンルーラル）
- 12月 26日 異業種交流会会議

◎農業会議・秋田中央地区農業委員会会長会関係

- 3月 15日 秋田県農業会議第112回総会
- 3月 15日 平成27年度第2回市町村農業委員会会長会議
- 4月 25日 秋田県農業会議第1回理事会
- 4月 25日 秋田中央地区農業委員会会長会通常総会
- 5月 24日 秋田県農業会議監事会
- 5月 24日 秋田県農業会議第2回理事会
- 5月 26日 平成28年度全国農業委員会会長大会及び秋田県選出国議員要請集会・中央地区会長会研修会（～27日）
- 6月 16日 秋田県農業会議第1回通常総会・市町村農業委員会会長会議
- 8月 31日 東北・北海道農業活性化フォーラム
- 7月 29日 新・農地を活かし、担い手を応援する農業委員研修会
- 9月 9日 平成28年度市町村農業委員会会長、会長職務代理者、事務局長会議
- 10月 25日 秋田県農業会議第3回理事会
- 11月 1日 第60回秋田県農業委員大会（湯沢市）
- 11月 30日 農業者年金加入推進セミナー・農業委員会会長代表者集会・視察研修（～2日）

◎関連事業関係

- 1月 7日 農業委員研修会（農業委員会主催／講師：農業会議）・改正農業委員会法について
- 2月 15日 大潟村農作業標準作業料金改訂に伴う受託組合との会議
- 2月 16日 大潟村4団体連絡協議会
- 2月 18日 大潟村外周辺4市町農業委員会連絡協議会
- 6月 23日 農業委員研修（岩手・奥州市、宮城・亶理町～24日）
- 7月 13日 秋田県女性農業委員研修会

圃場内に農舎等を 建てる場合は 許可が必要です



農地転用（農舎等の農業用施設・既設用地の拡張等）については、事前に相談してください。なお、許可のない農地転用については原状回復等の措置が講じられますので注意してください。転用許可申請書に添付する書類等詳細についてはお問い合わせ下さい。

■問合せ：農業委員会(Tel.45-3654)